

高齢者・障がい者のための住まいづくりの相談

NPO法人町田すまいの会

高齢になったり、身体に障がいを持つたりすると、住み慣れた我が家でも、生活に不便なことが色々と起きてくる。NPO法人「町田すまいの会」は、住み続けられる住環境を総合的に支援するため2002年に設立された。会の中には、建築だけでなく、医療や福祉の専門的知識を持つ方もいるという。

「手すりを一本設置するにも、位置・長さ・角度から材質に至るまで様々な分野の方が集まり、議論を重ねながら進めていきます。それぞれの病気の症状や障がいの状態を正確に把握し、住む方に適した住宅の改修をしています」と語るのはい級建築士で代表の大字根成子さん。



「住居のフェア」改修の相談のほか、バリアフリー、耐震についてのミニ講座も開催。子ども向けのイベントもあるので家族で出掛けてもいい。



町田すまいの会の皆さん。
左から浦田さん、高本さん、大字根代表、菊地さん、松平さん。

町田すまいの会の活動は、常時受け付けている【住宅改修の相談窓口】のほか【住宅改修がテーマの研修事業】【広報事業】がある。広報活動の代表は毎年開催される「住居る（すまいる）フェア」だ。街中で住宅改修例や福祉用具の展示、実演、体験などを行っている。

「住まいの問題は誰にでも訪れます。ぜひ立ち寄って将来の参考にしてください。ただただです。ね。介護をうける本人だけでなく、共に住むご家族の方に一緒に見ていただくのも良いと思います」広報誌などの発行も行うが、人手が足りず会員を募集中。必ずしも建築の専門知識は必要ないとのことだ。

NPO法人 町田すまいの会
連絡先：042-788-2006(大字根)
◆「住居(すまいる)フェア」
日 時：2010年5月22日(土)・23日(日)
午前10時から午後5時
場 所：ぼっぼ町田イベント広場

NPO法人

まちだ × アクティブ!

地域の絆づくりを大切に

矢部町町内会

創建616年とも伝えられる由緒ある古社幹幹(やがら)八幡宮が町内の中ほどに位置する矢部町町内会の会員は現在約370世帯。町の北には桜美林学園の広大な敷地が広がり、西側は境川を挟んで相模原市に接し、町内には田畑も残している。

「ひと言でいえば平穏・安寧なところですよ」と語るのは矢部町町内会会長の鈴木定彦さん。古くからの付近一帯の鎮守でもある鬱蒼とした森に囲まれた幹幹八幡宮は、人々の大きな存在となっている。

「町田市指定無形民俗文化財の『矢部八幡宮獅子舞』は代々続く伝統的な行事で、五穀豊穡・子孫繁栄を願い八幡宮に奉納されます。盆踊りや恒

例になった町内バーベキュー大会なども八幡神社境内で行なわれていきます。日頃は、子ども達の遊び場であり、町民憩いの場であり、町のコミュニケーションの拠点となっていますね」町内会の運営においては、世帯がそれほど多くないので比較的まとまっているといいながらも会員相互の親睦を深めていきたいと願っている。

「矢部町は人口が増加中で若い方も増えました。人が増えても、かつての向こう三軒両隣のように友愛の絆を大切に、お互いに顔が分かって、街角やバス停で会ったら挨拶ができ、子どもたちの元気な声が聞こえる明るい町に」と地域への思いを語ってくれた。



町内一斉美化作業後のバーベキューの集い。家族ぐるみで親睦を深める。



矢部町町内会会長の鈴木定彦さん。

矢部町町内会
〒194-0214 町田市矢部町2663
連絡先：042-797-2677(鈴木)

町内会・自治会